

【検診機関用】乳がん検診のためのチェックリスト

	実施検診機関数	
	H22	H23
1. 撮影の精度管理		
(1) 乳房エックス線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準（※1）を満たしているか	3	3
(2) 乳房エックス線撮影における線量および写真の画質について、第三者による外部評価をうけているか	3	3
(3) 撮影技師はマンモグラフィの撮影に関するマンモグラフィ精度管理中央委員会(精中委)による研修（※2）の修了を原則としているか	3	3
2. 読影の精度管理		
(1) 読影に従事する医師はマンモグラフィの読影に関する精中委の研修（※2）を修了し、認定取得を目標としているか	3	3
(2) 読影は二重読影であるか（うち1人は精中委の評価試験の結果がAまたはBである（※2））	3	3

※1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準（1～9）

1. インバータ式エックス線高電圧装置を備えること。
2. 自動露出制御(AEC)を備えること。
3. 移動グリッドを備えること。
4. 管電圧の精度・再現性
 - (a) 表示精度：±5%以内（24-32kV）
 - (b) 再現性：変動係数0.02以下
5. 光照射野とエックス線照射野のずれ。
左右・前後のずれ：SIDの2%
6. 焦点サイズ
公称0.3mmのとき、0.45mm×0.65mm以内
7. 圧迫板透過後の線質(半価層、HVL)
モリブデン(Mo)ターゲット/モリブデン(Mo)フィルタのとき
(測定管電圧/100)+0.03≦HVL(mmAl)<(測定管電圧/100)+0.12
8. 乳房圧迫の表示
 - (a) 厚さの表示精度：±5mm以内
 - (b) 圧迫圧の表示精度：±20N以内
9. AECの精度
 - (a) 基準濃度：1.5 管理幅：±0.15以内
(ファントム厚20、40、60mmおよびこれらの厚さに対して100mAs以下のエックス線照射が行える管電圧の選択範囲とする)
 - (b) 再現性：変動係数0.05以下

※2 マンモグラフィ撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会基本講習プログラムに準じた講習会とは、検診関連6学会(日本乳癌検診学会、日本乳癌学会、日本医学放射線学会、日本産科婦人科学会、日本放射線技術学会、日本医学物理学会)から構成されるマンモグラフィ検診精度管理中央委員会の教育・研修委員会の行う講習会等をいう。

なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班および日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む。

調査実施機関

(財)長野県健康づくり事業団、(財)中部公衆医学研究所、長野県厚生農業協同組合連合会